



座間市議会だより

No.136

平成18年5月15日

発行 座間市議会

編集 議会だより編集委員会

座間市緑ヶ丘1-1-1

電話046(255)1111(代表)



かにか沢公園の芝桜（H18.4 緑ヶ丘）

3月定例会

十八年度 予算 総額592億円を可決

五つの重点目標掲げ 施策など充実・強化

第一回定例会は二月二十三日に開会し、市長提出議案四十五件、議員提出議案八件、請願二件、陳情三件を審議して、三月二十三日に閉会しました。この定例会では、平成十八年度の市政を決める各会計予算や条例改正、各施設の指定管理者の指定、任期満了に伴う人権擁護委員の推薦について、それぞれ議論しました。

平成十八年度各会計予算
平成十八年度当初予算は、三月二十三日の本会議で決定しました。その内容は、一般会計と特別会計、水道事業会計を合わせた予算総額が、五百九十二億八千五百六十六千円と前年度に比べ二・八%の増になっています。一般会計は、三百二十二億二千三百九十一千円と前年度比一・六%の増、国民健康保険事業特別会計は、百十億八千三百一十一千円と前年度比五・〇%の増、老人保健特別会計は、五十五億四千四百九十万三千円と前年度比六・七%の減、公共下水道事業特別会計は、四十一億九千七百七十万千円と前年度比五・九%の増、介護保険事業特別会計は、四十億二千四百七十六万三千円と前年度比九・八%の増、水道事業会計は、三十一億二千九百二十六万六千円と前年度比三・三%の増となっております。（下表参照）

採決の結果、各会計予算とも賛成多数で可決しました。

一般会計
歳入の柱である市税収入につきましては、前年度比三・五%増の百六十七億二千七百七万千円を見込み、歳入総額に占める割合は五三・六%で、前年度比〇・五ポイントの増となっております。これは、個人住民税の均等割について、生計同一の妻に対する非課税措置を段階的に廃止することや年金控除の見直し、定率減税が二分の一の縮減などにより増収が見込まれるためです。歳出では、投資的経費が前年度比一七・五%増の十二億千五百万円余と構成比も三・九%になりました。さらに、消費的経費は、前年度比二・一%増の三百億八百万円余と

なっています。消費的経費の増の主な要因は、団塊の世代の退職が見込まれることによる二億七千万円余の人員費の増、児童手当や児童扶養手当の制度拡充等により扶助費が一億二千万円程度の増となった結果、公債費を含めた義務的経費が全体で前年度比五億九千七百万円余の増額になったためです。

国民健康保険事業特別会計
国民健康保険の加入者数は微増ですが増加傾向にあり、世帯数についても市全体の四七・四%を占めている状況です。「医療制度改革大綱」が示されたものの、加入者の高齢化や医療技術の高度化などにより医療費の増加傾向が続き財源確保が非常に厳しい財政運営が続いています。

老人保健特別会計
老人保健の受給者については、老人保健法の改正に伴い、対象年齢が引き上げられたことなどを考慮し、年間平均受給者を七千九百二十二人と見込んでいます。

公共下水道事業特別会計
本年度予定区域の汚水整備が終了すると、市街化区域の九四・五%が整備されます。今後は、都市型浸水被害の解消のため、雨水管整備を中心に実施していきます。

介護保険事業特別会計
本年度は第三期介護保険事業計画の初年度に当たり、介護保険事業の円滑な運営、充実に向けた予算編成となっています。

水道事業会計
有収水量が全体的に減少傾向にあるため、給水収益を減額計上しましたが、その一方で安定した給水の継続に努め、老朽化した施設の改修などの施設整備に努力していきます。

平成18年度各会計当初予算

区分	平成18年度	平成17年度	増減	増減率(%)
一般会計	31,223,911 (30,595,731)	30,437,717 (30,003,007)	786,194	2.6 (2.0)
特別会計				
国民健康保険事業	11,080,312	10,555,822	524,490	5.0
老人保健	5,544,903	5,940,951	△396,048	△6.7
公共下水道事業	4,197,701	3,962,864	234,837	5.9
介護保険事業	4,024,763	3,664,501	360,262	9.8
小計	24,847,679	24,124,138	723,541	3.0
水道事業会計	3,129,266	3,028,689	100,577	3.3
合計	59,200,856 (58,572,676)	57,590,544 (57,155,834)	1,610,312	2.8 (2.5)

平成18年度一般会計歳入歳出構成図

